岩手県立花巻清風支援学校　令和８年度　第２回学校運営協議会記録

１　日　時　　令和８年 10 月６日（火）10:00～12:00

２　会　場　　本校会議室

３　出席者
（１）学校運営協議会委員出席 13 名
　　会　長　企業関係者
　　副会長　北上地区、福祉関係者
　　Ａ委員　地域関係者
　　Ｂ委員　地域関係者
　　Ｃ委員　遠野地区、福祉関係者
　　Ｄ委員　行政関係者
　　Ｅ委員　学識経験者
　　Ｆ委員　ＮＰＯ関係者
　　Ｇ委員　教育関係者
　　Ｈ委員　教育関係者
　　Ｉ委員　ＰＴＡ関係者
　　Ｊ委員　同窓会関係者
　　校　長　本校職員
（２）本校職員８名

４　内容
　学校運営協議会進行：副校長
　　（１）開会
　　（２）校長挨拶
　　（３）会長挨拶
　　（４）各分教室紹介【遠野分教室副校長、北上分教室・北上みなみ分教室副校長】
　　進行：副校長
　　・資料の通り
　　寄宿舎の紹介【高等部副校長】
　　・資料の通り
　　質問・意見等
　　【会長　企業関係者】
　　・花巻清風の分教室は県立で、小学校・中学校は市立で組織が異なりますが年度初めや年度末に綿密な打ち合わせ等を行っているのか、それとも併設校と文化的に長い期間携わりしっかり融合しているのか組織の工夫などはあるのか。
　　【遠野分教室副校長】
　　・年度始めの打合せと年度末に反省を行い、次年度につなげている。毎朝、教務主任同士で打合せを行っている。
　　【北上分教室・北上みなみ分教室副校長】
　　・中学部では月曜日に中学校と打合せを行っている。月１回の中学校の職員会議には分教室の職員も参加して情報の共有を図っている。
　　【Ｊ委員　同窓会関係者】

・寄宿舎見学・寄宿舎生活体験の実施について、集団生活を体験させる意味では宿泊体験も必要だと考える。

【高等部副校長】

・寄宿舎見学・寄宿舎生活体験は今年度初めての試みであったため、児童・生徒の安全を最優先にして日帰りでの実施とした。今後検証を行い、次年度以降宿泊体験の実施も検討したい。

【Ｅ委員　学識経験者】

・遠野の生徒の作文がすばらしかった。北上みなみ分教室小学部と南小学校が花巻清風の校歌を共に歌う映像に感動した。子どもたちの声がとても大きく聞こえて良かった。

（５）協議　進行：会長

①『地域との連携・協同の取組について』

（ア）今年度の取組の様子

各学部等新規取組について紹介

小学部の取組（音楽ゲストティーチャー、音楽鑑賞教室）【小学部主事】

・資料の通り

高等部の取組（作業学習、花巻南高校との交流）【高等部主事】

・資料の通り

質問・意見等

【Ｃ委員　遠野地区、福祉関係者】

・実際に本物の芸術家の生の音を聞くのは貴重な体験である。高等部は、本当に実際の会社のような取組ですばらしい。

【Ｈ委員　教育関係者】

・高等部は、最先端のことにチャレンジさせている。無理だという先入観をもたずにまずはやってみようという姿勢がすばらしい。

【Ｆ委員　ＮＰＯ関係者】

・小学部の取組はとてもすばらしい。プロもいいが、中学・高校の吹奏楽部の発表などもいいのではないか。高等部の作業学習の取組はきめ細やかな教育を実践している。

（イ）地域資源の共有・情報提供

【副校長】

・昨年度の第２回学校運営協議会での情報提供を受けて今年度実施できた。次年度に向けて情報提供をお願いしたい。

【Ａ委員　地域関係者】

・情報提供について具体的な要望はないか。

【小学部主事】

・本物に触れさせたいので、音楽家は引き続き募集中。クリスマス会のサンタクロースや豆まきの鬼などを引き受けて下さるボランティアがいらっしゃるとよい。

【中学部主事】

・ダンスやフラワーアレンジメントをしている方等の情報があればいただきたい。

委員の方からの情報提供

【Ｂ委員　地域関係者】

・市の広報は１日と 15 日に配付している。事前にいただければ学校で作成したチラシも配付できるので活用してほしい。寄宿舎は避難訓練などで地元の消防団を利用してほしい。

【高等部副校長】

・次の寄宿舎避難訓練は夜間に実施し、消防団の方をお招きして実施する予定である。

【会　長　企業関係者】

・駅前大通りの山車作りの見学も可能である。

【Ｄ委員　行政関係者】

・生涯学習課の出前講座等で派遣できるものもあると思う。また高等部なら主権者教育の一環で市選挙管理委員会が実施する模擬の選挙体験などが実施できる。

【副会長　北上地区、福祉関係者】

・先日、専修大学北上福祉教育専門学校の学生ボランティアにお会いしたが、外国人学生が多数在籍しているようだ。今後、ボランティア等をお願いすれば本物の国際交流ができる。

【校長】

・北上市総合運動公園で行った Try スポーツにおいて、専修大学北上福祉教育専門学校の学生にボランティアをお願いしたが、多くのネパールの方に協力いただいた。

【会　長　企業関係者】

・花巻南ロータリークラブでの昨年度のクリスマス会は、企業の技能実習生や地元の高校生に来てもらって実施した。外国の方と高校生にとってとても良い交流の機会になっていた。

②地域防災・安全の取組紹介

【副校長】

・前回の会議後、Ｂ委員に相談して交通安全立て看板の設置、交通安全ののぼりの手配、校門前の横断歩道の舗装整備を警察に依頼、「止まれ標識」にかかる樹木の伐採を依頼していただき、改善していただいた。

【Ｂ委員　地域関係者】

・校門前の横断歩道の舗装整備は警察の管轄だが、市役所から発注してもらった。「止まれ標識」にかかる樹木に関しては、太田地区安全部会で伐採を実施した。

福祉避難所について

資料の通り

【副校長】

・本校は地域の避難所に指定されていないが、本校の危機対応マニュアルでは、児童・生徒が在校中は帰宅困難時の対応として自主避難所の開設を想定している。医療的ケアを伴う重症心身障がい児の自宅が浸水想定区域にあるケースについて、昨年度花巻市が主導した災害時の個別避難計画作成の協議に本校も参加し、災害が起こった際の避難場所の受け入れに関して、指定避難所を経由せずに福祉避難所を利用することで、本人の負担を極力減らしたいとの話が出た。本校に在校する児童生徒のために学校施設設備を提供したい思いはあるが、問題は夜間や休日など職員不在時に避難所の役割を担うことはできないのではないかという話が出た。

【Ｉ委員　ＰＴＡ関係者】

・先日の豪雨の際、医療的ケア児の家が浸水被害区域に入っており、夜間に増水して警察から避難してほしいと言われた。個別の避難計画では学校が二次避難先となっていたが連絡がつかなかった。学校は生徒にとっては安心できる避難先だが、職員が常駐していないので厳しい面がある。

【会　長　地域関係者】

・学校は避難所のイメージはあるか。

【Ｇ委員　教育関係者】

・以前勤務していた学校で実際に生徒が避難所を開設する訓練を実施した。実際に災害が起こった際に生徒が運営することはないが、この訓練を通してよき避難者になってほしいという視点は必要かと感じた。

【Ｉ委員　ＰＴＡ関係者】

・重度のケア児は個別の避難計画がない人もいる。一次避難所では対応できないので、最初から福祉避難所に行けるような体制がほしい。実際に避難計画を立てていても、担当者がよく理解していないこともある。

【Ｄ委員　行政関係者】

・岩手県立大学が力を入れて取り組んでいる。昨年度１名個別の避難計画を作成した。昨年度は事前に話をしていたためうまく訓練できた。協定を結んでいても実際に対応できるのかが課題である。

【Ａ委員　地域関係者】
・８月１日から現在の役職になったため、今年度の計画には関与していない。
【会　長　企業関係者】
・震災から 15 年が経過したが、今はスマホに頼りすぎの面がある。電力がダウンしたら何もできない。
【Ｂ委員　地域関係者】
・地域防災として支援が必要な方の情報をもらっているが、寄宿舎にいる児童生徒は花巻市に住所変更していないため情報がない。避難訓練の際に消防団を利用することで状況がわかるようになる。

（６）諸連絡
・第３回学校運営協議会は２月 16 日（火）を予定している。期日が近くなったら改めて案内を発送する。
【校長】
・皆様からいただいた意見をもとに学校をよりよくしていきたい。震災から 15 年が経過し、学校に泊まったことがない生徒が大半である。学校で何かあれば、食料の備蓄は３日間分準備しているため、３日間は泊まれるような体制を組んでいる。

（７）閉会